

第43期 事業報告書
平成15年3月1日～平成16年2月29日



IZUMI REPORT 2004

平成16年2月期の業績について

厳しい環境下、5期連続で増収増益を達成いたしました。



代表取締役社長 山西 泰明

当期は、景気回復の兆しが現れたものの個人消費の回復感は乏しく、さらに記録的な天候不順や競合激化が重なり、小売業界にとって厳しい状況が続きました。このような状況のもと、当グループは引き続きお客様にご満足いただける売り場作りを追求してまいりました。特に、仕入先との連携強化を通じて、提案力のある魅力的な品揃えを追求する一方、店舗毎・季節毎にきめ細かく品揃えを変化させ、地域性豊かで新鮮な売場作りに励みました。新設店舗としては、当社最大級の店舗となる「ゆめタウン久留米」(福岡県久留米市)を9月に開店いたしました。全国トップクラスの規模に加え(敷地面積84千㎡、店舗面積47千㎡、駐車台数4千台)、日本有数の専門店を142店導入し幅広い品揃えを実現、地域一番店として順調に推移しております。また、(株)ニココ堂から貸借している店舗のうち「はません店」(熊本市、敷地面積97千㎡、店舗面積37千㎡、駐車台数2千台、テナント数126店舗)および「サンピアン店」(熊本市、敷地面積80千㎡、店舗面積25千㎡、駐車台数2千台、テナント数75店舗)について、全面的な活性化を実施し“ゆめタウン”として新装開店いたしました。連結子会社においては、輸入ブランドショップ(株)エクセルやカード会社(株)ゆめカードなどが堅調な業績を残し、グループ全体の成長に貢献いたしました。

これらの結果、当期の業績は右記のとおり5期連続で増収増益を達成いたしました。次期につきましても、お客様満足の獲得に向けて一段の改革を行い、日本一のリージョナル・チェーンに向けて基盤の強化に努めてまいります。

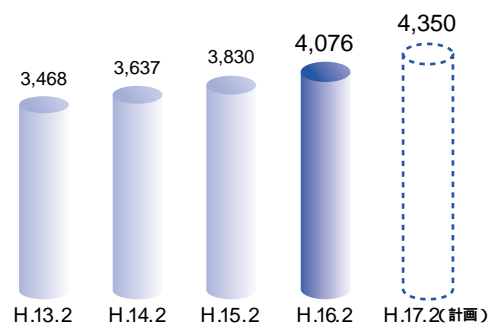
営業収益

4,076億円

前期比
6.4%増

競合激化や天候不順によりイズミ単体の既存店売上前年比は97.2%となりましたが、久留米店の新設や連結子会社各社の堅調な推移により6.4%増収となりました。

連結営業収益(億円)



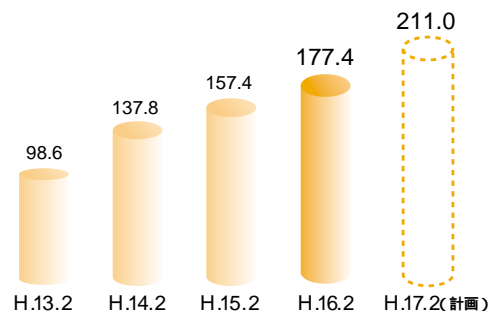
経常利益

177.4億円

前期比
12.7%増

仕入原価の削減や販管費の圧縮、さらに支払利息の削減などにより、経常利益は12.7%の増益となりました。なお、資産効率を表す総資産経常利益率は6.2%(前期比+0.4%)となりました。

連結経常利益(億円)



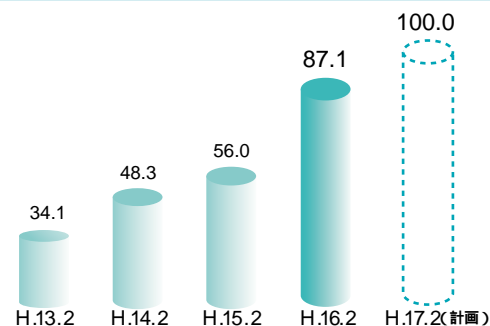
当期純利益

87.1億円

前期比
55.6%増

これまで不採算店舗の閉鎖などを積極的に行ってきた成果により特別損失はピークを越え、当期純利益は大幅増益となりました。これにより株主資本当期純利益率は10.8%(前期比+3.4%)となりました。

連結当期純利益(億円)



地域とともに 暮らしとともに youme ひろがる！



地域一番の規模と品揃えを誇る大型ショッピングセンター“ゆめタウン”。

それは、日常の生活を彩るイズミ独自の品揃えに、

日本有数の専門店群が加わり、

広域からご来店いただける「ゆめの街」です。

“ゆめタウン”とともに成長してきたイズミは、

平成15年度、過去最大級となる「ゆめタウン久留米」を出店。

高品質で幅の広い品揃えにより、福岡県南部の一番店として

地域の皆様からご支持いただいております。

さらに、ニココ堂からの賃借店舗 はません店、サンピアン店を

“ゆめタウン”としてリニューアルしつつ、

既に地域一番の地位を確立している高松店でも、

新たに新館を加えて集客力の一段の向上を図りました。



平成16年度には「ゆめタウン光の森」(熊本県)、「ゆめタウン呉」(広島県)を開店予定。

その後も安定的に出店を行いつつ、着実な成長を目指してまいります。

地域に密着しつつ、より豊かな生活を提案する「ゆめの街」。

地域の皆様に驚きと感動を与える“ゆめタウン”の挑戦は、

これからもさらに広がってゆきます。



平成16年度 開店予定店舗のご紹介

ゆめタウン光の森

6月開店予定の「ゆめタウン光の森」は熊本市郊外の大規模ベッドタウン「光の森」の中核商業施設であり、将来の確かな発展が期待される好立地にあります。

さらに、国道と直結するオーバークリッジやJR新駅の完成などアクセスも抜群。

9スクリーンを持つシネマコンプレックスや、高齢者や身体的ハンディキャップをお持ちの方にも快適にショッピングいただけるユニバーサル・デザインの導入など、「ゆめタウン」として新たな取り組みも展開してまいります。

所在地 熊本県菊池郡菊陽町

敷地面積 / 48,500㎡、店舗面積 / 36,600㎡

駐車場台数 / 2,600台



ゆめタウン呉

港湾都市・呉が推し進める湾岸部活性化計画の中核として位置付けられる「ゆめタウン呉」。年間960万人が利用するJR呉駅と自由通路で結ばれ、周辺には呉市海事博物館や高層マンション、スポーツ施設等が整備されるなど、エリア全体が呉市の新たな拠点として大きく生まれ変わります。

多彩なテナントを導入し、ヤングマインドでファッション性の高い複合商業施設として新生・呉市の活性化に貢献するべく、9月の開店に向けて着々と準備を進めています。

所在地 広島県呉市宝町

敷地面積 / 21,650㎡、店舗面積 / 22,500㎡

駐車場台数 / 1,530台



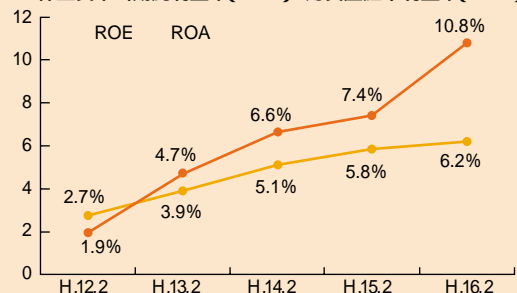
指標で見るイズミ

店舗などの資産をどれだけ効率的に使用したかを表す「総資産経常利益率(連結)」は、高収益店舗「ゆめタウン」の出店により安定的に上昇してまいりました。

さらに、株主の皆様からお預かりしている株主資本の収益性を表す「株主資本当期純利益率(連結)」も、堅調な業績を背景に当期は10.8%と2桁の大台に乗せました。

引き続きこれらの指標の改善に努め、株主の皆様のご期待に応えてまいります。

株主資本当期純利益率(ROE)と総資産経常利益率(ROA)



輸入ブランドショップの概念を変えた 「エクセル」



エクセルが誕生したのは1990年のことです。

それまでの常識にとらわれず、「ブランド品にふさわしい高品質な空間の中で、誰もがリーズナブルに買えるように」との理想をめざして、私たちの挑戦がはじまりました。

独自の海外直接仕入ルートを開拓し、

より高い品質水準と、より優れたコストパフォーマンス、

そして豊富な商品ラインナップを追求し続け、ついに百貨店でもディスカウントストアでもない、

「エクセル」という全く新しい業態を市場に定着させることができました。

独自の商品力とノウハウに対し皆さまに大きなご支持をいただいたことで、

おかげさまで出店要請やフランチャイズの申し込みも順調に増えて、

2004年4月現在、日本全国に直営店42店舗となりました。

ようやく輸入ブランド品流通において確かな地盤を確保することとなりましたが、

私たちの挑戦はそれがゴールではありません。

一人ひとりのお客様に「エクセルでなければ」といわれるように、

常識にとらわれない新しい価値創造をこれからも続けてまいります。



そして今、ナンバー1から オンリー1へ

今期新店舗10店計画。
東京銀座店・名古屋栄店をリニューアル。



中国・四国エリア 広島店



北海道エリア 札幌店



関東エリア
東京銀座店 2004年2月21日
リニューアルオープン!



近畿・中部エリア
名古屋栄店 2004年4月2日
リニューアルオープン!



九州エリア 博多店

インターネットSHOP効果

1999年、エクセルはいち早くインターネットSHOPをオープン。ネット上のトップモールである楽天に続きYAHOO、BIGLOBEにも出店し、ネットの訴求力と実店舗の商品力という相乗効果と、通販市場と実売市場展開により、大きな信頼を得ています。



■新業態店舗戦略

タイム・タイム

Time²



エクセルは、新業態店舗への挑戦をはじめています。2000年9月に新しいタイプの時計専門店「タイム・タイム」を発表。小粋な店舗イメージで国内外の人気ブランドの時計を、よりリーズナブルな価格でお届けするという店舗コンセプトも、これまでの業界常識にとらわれない「エクセル」のDNAから生まれた発想です。



ラックレマン

Lacleman

2004年4月には、「高級感のあるおしゃれな店舗の中でリーズナブルプライスで提供する」新しい宝飾アクセサリーSHOP「ラックレマン」をオープン。その高感度なSHOPデザインと商品提案は、トレンドに敏感な女性層の話題を集めることでしょ。こうしてエクセルの話題性と展開力は、さらに豊かな可能性を持った世界へと広がっています。

Financial Data

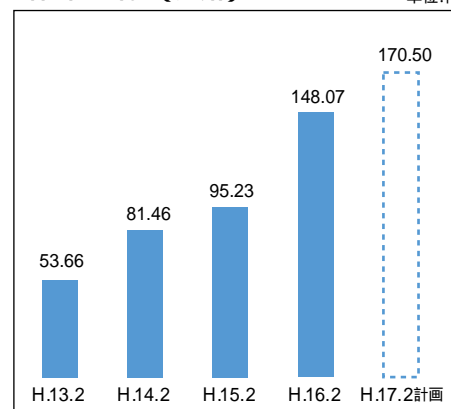
[連結] 決算

単位:百万円

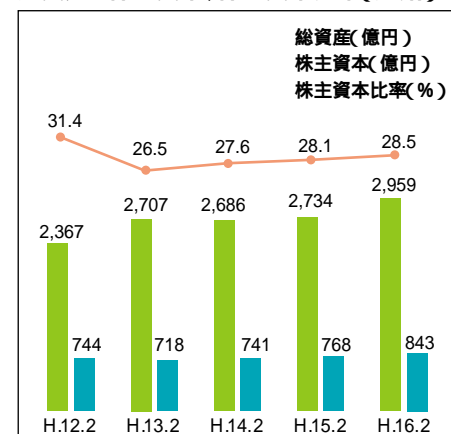
	平成13年2月	平成14年2月	平成15年2月	平成16年2月	平成17年2月計画
営業収益	346,811	363,714	383,098	407,647	435,000
前年比	120.3%	104.9%	105.3%	106.4%	106.7%
営業利益	10,285	14,783	15,993	18,078	21,800
前年比	126.4%	143.7%	108.2%	113.0%	120.6%
経常利益	9,862	13,782	15,741	17,742	21,100
前年比	155.2%	139.7%	114.2%	112.7%	118.9%
当期純利益	3,415	4,832	5,600	8,712	10,000
前年比	237.6%	141.5%	115.9%	155.6%	114.8%
1株当たり利益	53.66円	81.46円	95.23円	148.07円	170.50円
総資産	270,757	268,654	273,484	295,927	—
純資産	71,810	74,131	76,892	84,354	—
1株当たり純資産	1,155.75円	1,253.25円	1,354.71円	1,437.82円	—
株主資本利益率	4.7%	6.6%	7.4%	10.8%	—
株主資本比率	26.5%	27.6%	28.1%	28.5%	—
連結子会社数	16社	18社	17社	17社	—

1株当たり利益(連結)

単位:円



総資産と株主資本、株主資本比率(連結)



[単体] 決算

単位:百万円

	平成13年2月	平成14年2月	平成15年2月	平成16年2月	平成17年2月計画
営業収益	304,257	310,365	321,305	332,264	352,000
前年比	107.1%	102.0%	103.5%	103.4%	105.9%
営業利益	8,255	11,825	13,340	13,245	15,500
前年比	108.5%	143.2%	112.8%	99.3%	117.0%
経常利益	6,856	10,890	12,648	12,965	15,000
前年比	116.0%	158.8%	116.1%	102.5%	115.7%
当期純利益	3,106	3,789	5,621	7,097	7,850
前年比	230.7%	122.0%	148.3%	126.3%	110.6%
1株当たり利益	48.81円	61.34円	92.33円	117.80円	130.72円
総資産	220,474	216,540	218,473	230,509	—
純資産	73,559	75,465	77,334	83,277	—
1株当たり純資産	1,183.91円	1,226.25円	1,287.34円	1,386.40円	—
株主資本利益率	4.2%	5.1%	7.4%	8.8%	—
1株当たり配当金	21.00円	21.00円	23.00円	23.00円	23.00円

COMMENT

資産・負債・資本の状況

資産

2,959億円(前期末比 224億円増加)

9月に開店した久留米店及び次期の新設予定店舗への投資により固定資産は162億円増加しました。また、業容の拡大にともなう売掛金やたな卸資産の増加などにより流動資産は61億円増加しました。これらの結果、当期末の総資産は224億円増加し、2,959億円となりました。

負債

2,062億円(前期末比 138億円増加)

有利子負債は前期末比5億円減少し、1,392億円となりました。一方、期末日が銀行休業日のため買掛金等の未決済額が増加したことなどにより、当期末の負債は2,062億円(前期末比138億円増加)となりました。

資本

843億円(前期末比 74億円増加)

堅調な営業成績により利益剰余金が72億円増加しており、これにより当期末の株主資本は843億円(前年同期比74億円増加)となりました。なお、株主資本比率は28.5%(前期末比0.4%増)となりました。

[連結]貸借対照表

単位:百万円

	当期 H16.2.29	前期 H15.2.28		当期 H16.2.29	前期 H15.2.28
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	58,467	52,281	流動負債	90,242	84,161
現金及び預金	10,184	8,168	支払手形及び買掛金	17,485	14,644
受取手形及び売掛金	6,915	5,853	短期借入金	20,981	24,882
たな卸資産	22,199	20,936	1年内返済予定の長期借入金	23,662	18,592
繰延税金資産	1,718	1,286	1年内償還予定の社債	5,000	10,000
その他	18,234	16,679	未払金	11,214	6,396
貸倒引当金	784	642	未払法人税等	4,535	3,867
固定資産	237,459	221,202	賞与引当金	1,317	1,464
有形固定資産	199,812	183,437	ポイント割引引当金	752	627
建物及び構築物	106,048	97,526	その他	5,292	3,685
機械装置及び運搬具	1,625	1,521	固定負債	116,006	108,209
土地	79,245	73,863	社債	5,000	10,000
建設仮勘定	2,583	1,612	長期借入金	84,642	76,313
その他	10,310	8,913	退職給付引当金	3,799	3,625
無形固定資産	7,802	8,473	役員退職慰労引当金	823	786
投資その他の資産	29,844	29,291	預り敷金及び保証金	20,137	16,114
投資有価証券	4,858	4,562	繰延税金負債	994	1,020
長期貸付金	2,475	2,493	その他	608	347
繰延税金資産	2,304	2,723	負債合計	206,248	192,371
差入敷金及び保証金	16,864	17,528	(少数株主持分)		
その他	3,857	2,453	少数株主持分	5,324	4,220
貸倒引当金	516	469	(資本の部)		
			資本金	19,613	19,613
			資本剰余金	22,315	22,315
			利益剰余金	45,822	38,572
			その他有価証券評価差額金	535	221
			為替換算調整勘定	2	3
			自己株式	3,930	3,826
			資本合計	84,354	76,892
資産合計	295,927	273,484	負債、少数株主持分及び資本合計	295,927	273,484

Financial Data

[連結] 損益計算書

単位:百万円

	当 期 H15.3.1 ~ H16.2.29	前 期 H14.3.1 ~ H15.2.28
営業収益	407,647	383,098
売上高	395,917	373,428
売上原価	303,997	283,925
売上総利益	91,920	89,502
営業収入	11,729	9,669
営業総利益	103,649	99,172
販売費及び一般管理費	85,570	83,178
営業利益	18,078	15,993
営業外収益	2,012	2,267
受取利息及び配当金	253	230
仕入割引	471	466
その他	1,288	1,570
営業外費用	2,349	2,520
支払利息及び社債利息	1,838	2,184
その他	510	336
経常利益	17,742	15,741
特別利益	241	221
投資有価証券売却益	208	108
その他	33	112
特別損失	1,094	4,128
固定資産売却・除却損	628	2,580
投資有価証券売却・評価損	65	209
ポイント割引引当金繰入額	—	499
その他	400	838
税金等調整前当期純利益	16,888	11,834
法人税、住民税及び事業税	7,368	5,682
法人税等調整額	254	341
少数株主利益	1,061	893
当期純利益	8,712	5,600

COMMENT

連結損益の状況

営業収益

4,076億円(前年同期比 6.4%増)

単体の既存店売上高は天候不順や競合激化により前年比97.2%となりましたが、久留米店の新設や子会社群の堅調な推移により、営業収益は前年同期比6.4%増となりました。

経常利益

177.4億円(前年同期比 12.7%増)

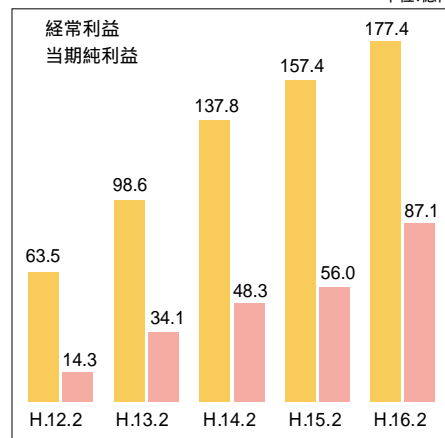
前期に引き続き、仕入原価や販管費などのコスト構造の改革を進めた結果、営業利益率は前年同期比0.3%改善し4.6%となりました。さらに支払利息(営業外費用)の減少の効果も加わり、経常利益は前年同期比12.7%増となりました。

当期純利益

87.1億円(前年同期比 55.6%増)

特別損失は前年同期に比べ大幅に減少しており、当期利益は前年同期比55.6%増と大幅増益となりました。また、1株当たりの利益は148.07円となりました。

単位:億円



COMMENT

キャッシュ・フローの状況

A 営業活動によるキャッシュ・フロー

会社の本業である営業活動によってどれだけの資金を獲得したかを表したものです。

前年同期と比べ114億円増加し、292億円となりました。これは堅調な営業成績により税金等調整前当期純利益が前年同期比50億円増加したことに加え、期末が銀行休業日となったため買掛金等の未決済額が増加したことによるものです。

B 投資活動によるキャッシュ・フロー

店舗新設等の設備投資や有価証券投資など期中の投資活動による資金の増減を表したものです。

前年同期と比べ85億円増加し、252億円の支出となりました。当期は、久留米店の新設や次期新設予定の光の森店、呉店に関する先行投資を実施しております。この結果、営業活動によるキャッシュ・フローと投資活動によるキャッシュ・フローの差額は39億円の資金余剰となりました。

C 財務活動によるキャッシュ・フロー

営業活動および投資活動を維持するためにどれだけの資金を調達あるいは返済したかを表したものです。

営業活動と投資活動から生じた資金余剰額は配当金の支払や有利子負債の返済に充当しており、財務活動によるキャッシュ・フローは19億円の支出となりました。なお、現金及び現金同等物の残高は20億円増加しております。

[連結] キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円

	当 期 H15.3.1 ~ H16.2.29	前 期 H14.3.1 ~ H15.2.28
1. 営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	16,888	11,834
減価償却費	10,828	10,577
たな卸資産の増減額	1,263	125
仕入債務の増減額	2,840	1,296
法人税等の支払額	6,698	6,208
その他	6,645	135
営業活動によるキャッシュ・フロー A	29,240	17,761
2. 投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得・売却	24,818	11,815
無形固定資産の取得・売却	511	2,837
その他	77	2,001
投資活動によるキャッシュ・フロー B	25,253	16,654
3. 財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の実行・返済	13,398	4,645
社債・転換社債の発行・償還	10,000	9,091
配当金支払額	1,510	1,327
その他	3,860	4,172
財務活動によるキャッシュ・フロー C	1,972	1,600
4. 現金・現金同等物の換算差額	0	1
5. 現金・現金同等物の増減額	2,016	492
6. 現金・現金同等物の期首残高	8,168	8,660
7. 現金・現金同等物の期末残高	10,184	8,168

Financial Data

[単体] 貸借対照表

単位:百万円

	当 期 H16.2.29	前 期 H15.2.28		当 期 H16.2.29	前 期 H15.2.28
(資 産 の 部)			(負 債 の 部)		
流動資産	31,071	28,139	流動負債	53,336	59,738
現金及び預金	3,884	5,902	買掛金	13,972	12,279
売掛金	2,626	2,415	短期借入金	15,837	23,943
たな卸資産	12,936	12,634	1年内償還予定の社債	5,000	10,000
繰延税金資産	1,250	919	未払金	8,394	4,890
短期貸付金	5,599	3,382	未払法人税等	3,568	2,770
その他	4,834	2,935	賞与引当金	1,174	1,237
貸倒引当金	59	50	ポイント割引引当金	688	606
固定資産	199,438	190,333	その他	4,700	4,011
有形固定資産	161,662	150,299	固定負債	93,895	81,399
建物	82,363	76,807	社債	5,000	10,000
土地	62,891	57,991	長期借入金	69,282	53,998
建設仮勘定	2,559	1,599	退職給付引当金	3,381	3,241
その他	13,848	13,901	役員退職慰労引当金	773	740
無形固定資産	6,845	7,480	預り敷金・保証金	15,151	13,361
投資その他の資産	30,929	32,552	その他	306	57
投資有価証券	6,052	5,749	負債合計	147,232	141,138
出資金	526	526	(資 本 の 部)		
長期貸付金	2,475	2,493	資 本 金	19,613	19,613
繰延税金資産	1,567	1,946	資本剰余金	22,282	22,282
差入敷金	7,554	7,694	利益剰余金	43,213	37,576
差入保証金	12,166	12,861	その他有価証券評価差額金	535	195
その他	1,103	1,749	自己株式	2,366	2,332
貸倒引当金	516	468	資本合計	83,277	77,334
資産合計	230,509	218,473	負債及び資本合計	230,509	218,473

COMMENT

新規出店と閉店

期末店舗数	70店舗
新設	2店舗
閉店	3店舗

COMMENT

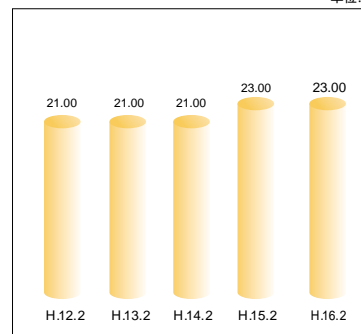
既存店売上高 前年比

既存店売上前年比	97.2%
- 客数前年比	99.4%
- 客単価前年比	97.8%

COMMENT

配当金の推移

単位:円



[単体] 損益計算書

単位:百万円

	当 期 H15.3.1 ~ H16.2.29	前 期 H14.3.1 ~ H15.2.28
営業収益	332,264	321,305
売上高	320,494	310,421
売上原価	247,898	238,206
売上総利益	72,596	72,214
営業収入	11,769	10,884
営業総利益	84,365	83,098
販売費及び一般管理費	71,119	69,758
営業利益	13,245	13,340
営業外収益	1,439	1,431
受取利息及び配当金	299	272
仕入割引	465	461
その他	675	697
営業外費用	1,720	2,123
支払利息及び社債利息	1,496	1,768
その他	224	355
経常利益	12,965	12,648
特別利益	210	109
投資有価証券売却益	209	42
その他	1	66
特別損失	602	2,820
固定資産売却・除却損	429	518
投資有価証券売却・評価損	65	208
子会社等整理損	16	1,044
ポイント割引引当金繰入額	—	499
その他	91	548
税引前当期純利益	12,573	9,937
法人税、住民税及び事業税	5,651	4,150
法人税等調整額	174	166
当期純利益	7,097	5,621
前期繰越利益	1,361	1,341
中間配当額	690	646
当期末処分利益	7,767	6,316

[単体] 利益処分

単位:百万円

	当 期 H15.3.1 ~ H16.2.29	前 期 H14.3.1 ~ H15.2.28
当期末処分利益	7,767	6,316
任意積立金取崩額		
特別償却準備金	25	22
固定資産圧縮積立金	13	14
合 計	7,806	6,353
これを次のとおり処分いたします。		
配当金	690 (1株につき、11円50銭)	750 (1株につき、12円50銭)
取締役賞与金	20	17
監査役賞与金	1	1
任意積立金		
特別償却準備金	89	22
別途積立金	5,630	4,200
次期繰越利益	1,374	1,361

主な連結子会社の業績 (H16.2期)

株式会社 エクセル

海外高級ブランド専門店
(40店舗展開)

営業収益	425億円 (前年比 3.9%増)
経常利益	11.2億円 (前年比 1.3%増)
当期純利益	5.0億円 (前年比 25.2%増)

株式会社 ゆめカード

カード事業会社
(カード会員数312万人)

営業収益	61億円 (前年比 18.9%増)
経常利益	13.2億円 (前年比 22.4%増)
当期純利益	7.4億円 (前年比 20.2%増)

株式会社 イデオ

ビル警備や施設管理の専門会社

営業収益	82億円 (前年比 30.3%増)
経常利益	5.6億円 (前年比 18.9%増)
当期純利益	3.3億円 (前年比 21.8%増)

イズミ・フード・サービス株式会社

飲食チェーン(153店舗展開)

営業収益	70億円 (前年比 13.3%増)
経常利益	1.0億円 (前年比 64.4%減)
当期純利益	0.1億円 (前年比 86.9%減)

Corporate Data & Stock Information

会社概要 (平成16年2月29日現在)

設立年月日	昭和36年10月27日
本社所在地	広島市南区京橋町2番22号 TEL 082-264-3211(代)
資本金	19,613,856,196円
従業員	正社員 2,053名 パートタイマー 4,206名(1日8時間換算)
店舗数	70店
	中国地方 56店
	広島県 29店 岡山県 12店 山口県 10店 島根県 5店
	九州地方 12店
	福岡県 9店 佐賀県 1店 大分県 1店 長崎県 1店
	その他 2店
	香川県 1店 兵庫県 1店

役員一覧 (平成16年5月27日現在)

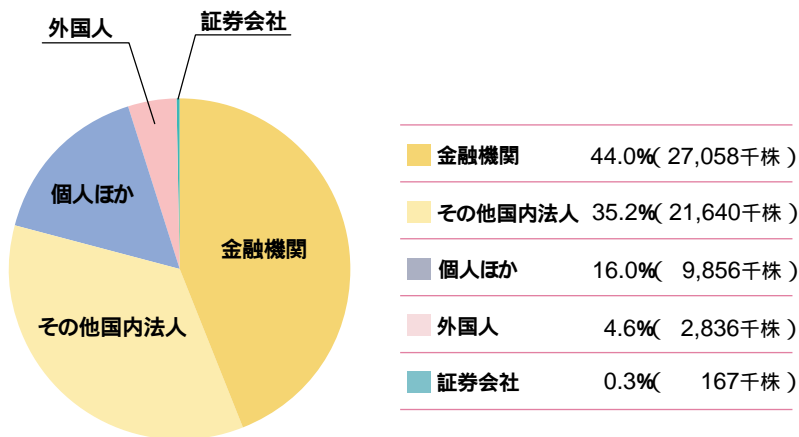
取締役会長	山西 義政
代表取締役社長	山西 泰明
代表取締役副社長	高西 宏昌
取締役	東 光 弘
取締役	板東 博明
取締役	夏原 平次郎
常勤監査役	津村 昭
監査役	滝本 豊水
監査役	松原 治郎
監査役	通堂 泰幸

(注) 通堂 泰幸の任期の始期は平成16年7月12日となります。

株式の状況 (平成16年2月29日現在)

会社が発行する株式の総数	195,243,000株
発行済株式の総数	61,558,710株
株主数	4,160名
1単元の株式数	100株

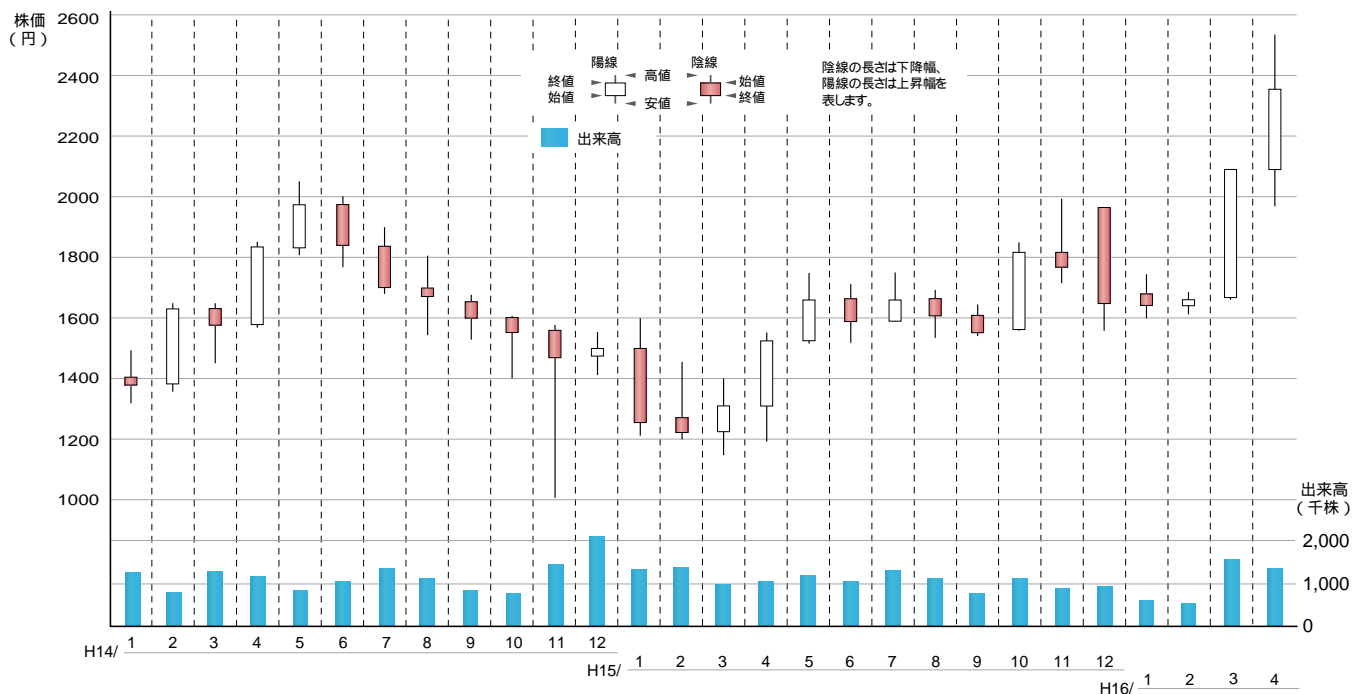
株式の分布状況



大株主の状況

	株式数	持株比率
(有)泉屋	4,793千株	7.79%
山西ワールド(有)	3,871千株	6.29%
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	3,103千株	5.04%
(株)あおぞら銀行	2,808千株	4.56%
(株)新生銀行	2,807千株	4.56%
日本生命保険(相)	2,644千株	4.30%
みずほ信託銀行(株)退職給付信託(広島銀行口)	2,516千株	4.09%
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	2,316千株	3.76%
(株)泉不動産	2,217千株	3.60%
第一生命保険(相)	2,115千株	3.44%
10社合計	29,194千株	47.43%

株価の推移



株主メニュー

- 決算期 ● 2月末日(年1回)
定時株主総会 ● 5月下旬
利益配当金受領株主確定日 ● 2月末日
中間配当金受領株主確定日 ● 8月31日
公告掲載紙 ● 日本経済新聞に掲載する。ただし、商法特例法第16条第3項に定める貸借対照表および損益計算書に係る情報は http://www.izumi.co.jp/ir/kessan_koukoku において提供する。
上場証券取引所 ● 東京証券取引所市場第一部
大阪証券取引所市場第一部
名義書換代理人 ● 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所 ● 住友信託銀行株式会社 証券代行部
〔郵便物送付先〕 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10
住友信託銀行株式会社 証券代行部
〔電話照会先〕 [住所変更等用紙のご請求] ☎ 0120-175-417
[その他ご照会] ☎ 0120-176-417
同 取 次 所 ● 住友信託銀行株式会社 全国各支店

株主優待制度の概要

毎年2月末日および8月31日現在、当社株式100株以上ご所有の株主の皆様に対して、ご所有株式数に応じて次の通り「株主ご優待券」をお贈りいたします。

ご所有株式数	一回当たり贈呈額
100株以上	200円券× 5枚＝ 1,000円の優待券
500株以上	200円券× 25枚＝ 5,000円の優待券
1,000株以上	200円券× 50枚＝ 10,000円の優待券
2,000株以上	200円券× 100枚＝ 20,000円の優待券
3,000株以上	200円券× 150枚＝ 30,000円の優待券
4,000株以上	200円券× 200枚＝ 40,000円の優待券
5,000株以上	200円券× 250枚＝ 50,000円の優待券

(注)2,000円以上お買上げにつき、2,000円ごとに各1枚(200円券)をご使用できます。

泉美術館ご招待券の贈呈

平成16年2月29日現在で当社株式を1単元以上ご所有の株主の皆様には「泉美術館ご招待券」をお贈りさせていただきます。